



ニュージャージー日本人学校

待ち望んだ再会

マニト一校 学校間交流

ニュージャージー日本人学校(岡村富広校長)は13日、近隣のマニト一校との学校間交流を行った。昨年11月にマニト一校を訪問して感謝祭について学習したが、今回は日本文化について知ってもらおうと招待した。開会式でパートナーと3か月ぶりに会った子供たち

ちは、英語の歌や会話を通してより仲良くなれたようだった。「福笑い」では、真剣に取り組んだ結果できあがる、おかめやひよつこのおもしろい顔に笑い声があがっていた。また、米国でも有名なピカチュウやマリオのキャラクターは、順番待ちになるほど大人気であった。「じゃんけんピラミッド」では質問と答えのやり取りをすべて英語で行っていた。最後までじゃんけんを勝ち抜き、王冠のシールをもらえた子は歓喜の声をあげていた。「しおり作り」では、日本人学校の児童があらかじめパートナーの名前にふさわしい漢字を考えておき、それを筆ペンで色紙に書く活動をした。マニト一校の児童は漢字に興味を持ち、画数の多い字でも手本をよく見て意欲的に取り組んでいた。英語で日本の文化や遊びを伝える活動だったが、交流を終えた子供たちは「またやりたい」「うまくできた」と楽しそうに話した。